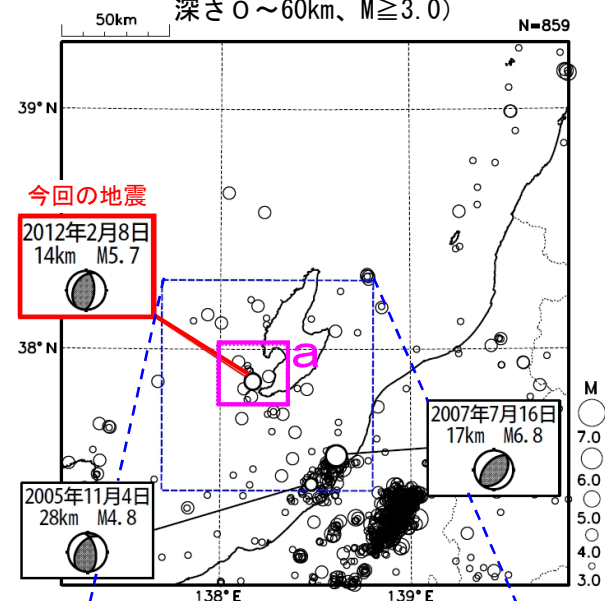


2月8日 佐渡付近の地震

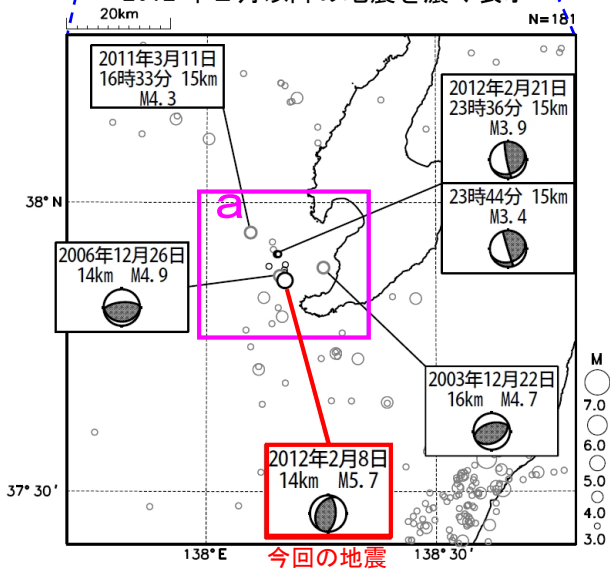
震央分布図 (1997年10月1日~2012年2月29日、
深さ0~60km、 $M \geq 3.0$)



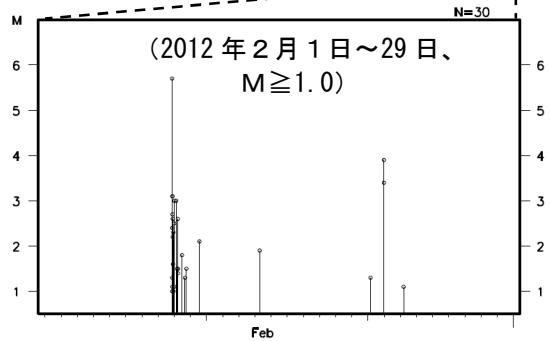
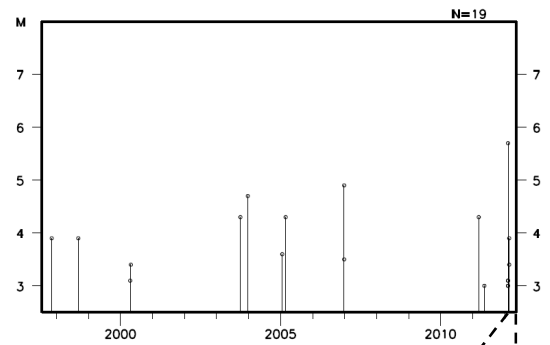
2012年2月8日21時01分に佐渡付近の深さ14kmでM5.7の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。また、今回の地震の発生以降、震央付近(領域a)では、震度1以上を観測した地震が5回(最大震度2:2回、最大震度1:3回)発生しているが、活動は比較的低調に推移した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、時々M4.0以上の地震は発生している。

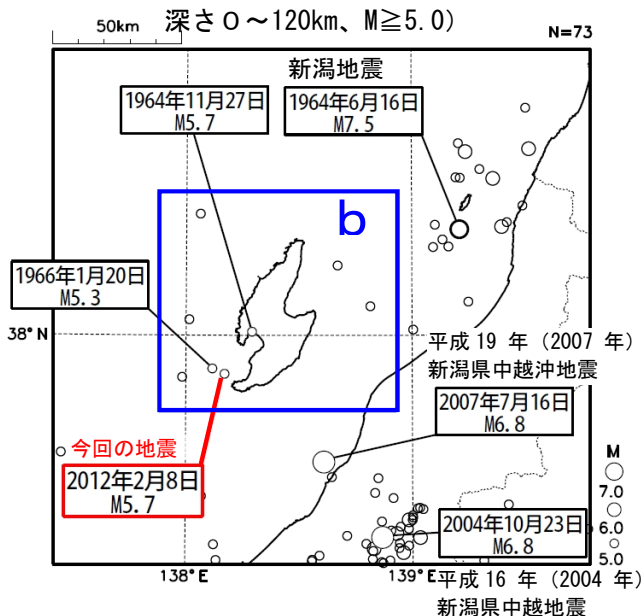
上図の破線枠の領域の拡大図
2012年2月以降の地震を濃く表示



領域a内の地震活動経過図



震央分布図 (1923年8月1日~2012年2月29日、
深さ0~120km、 $M \geq 5.0$)



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M5.0を超える地震が1940年代後半から1960年代にかけて発生していたが、今回の地震は、1966年1月20日に発生したM5.3(最大震度4)の地震以来のM5.0以上の地震である。

領域b内の地震活動経過図

